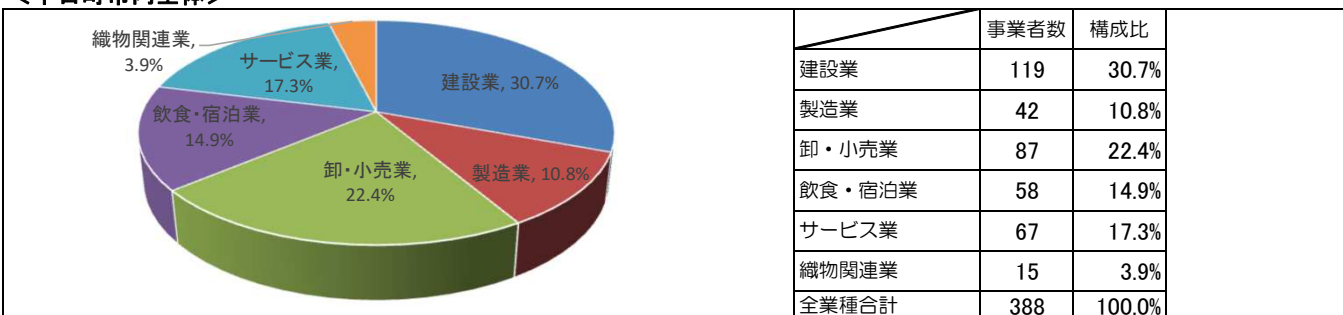


十日町市地域 企業景況調査 第3四半期報告書（R3.10.1～R3.12.31）会議所地区

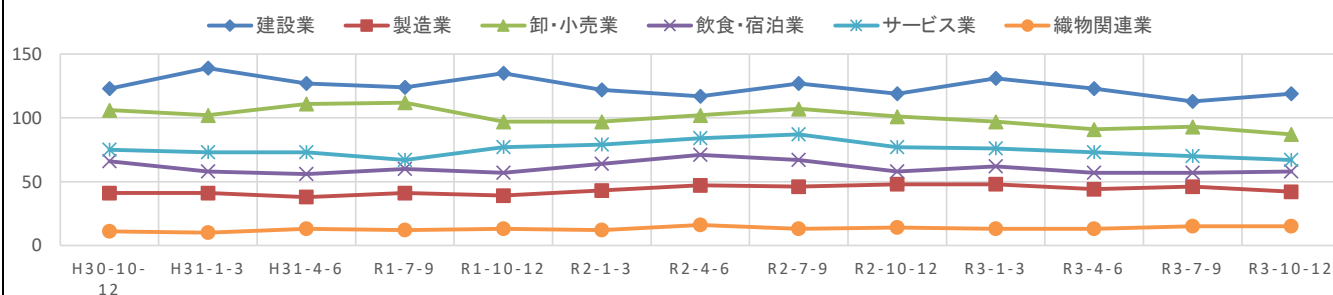
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



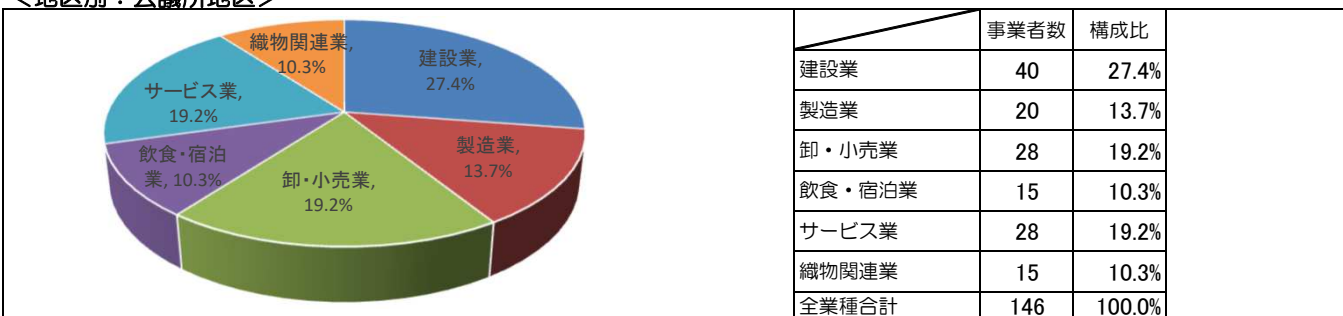
業種別調査事業所数の推移（市内全体）



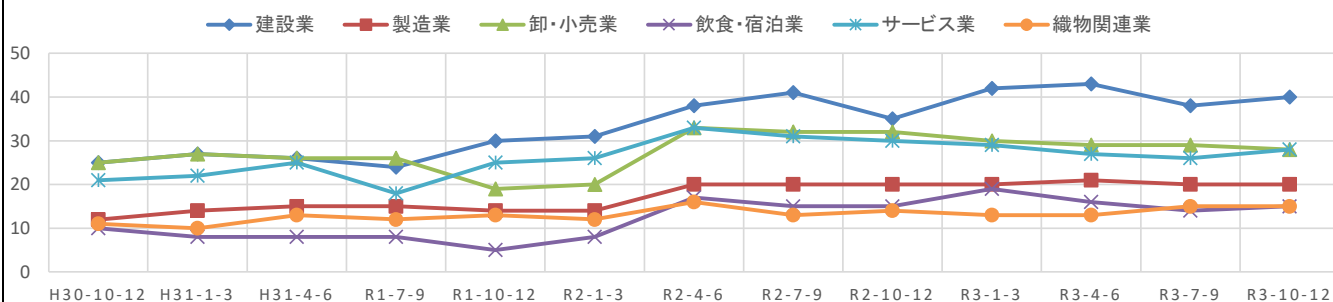
<コメント>

今回の調査は、十日町市内388事業所から回答を得られ、前回調査よりも6事業者減少している。製造業と卸・小売業、サービス業において減少があったものの、構成比については大きな差はないものとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移（地区）



<コメント>

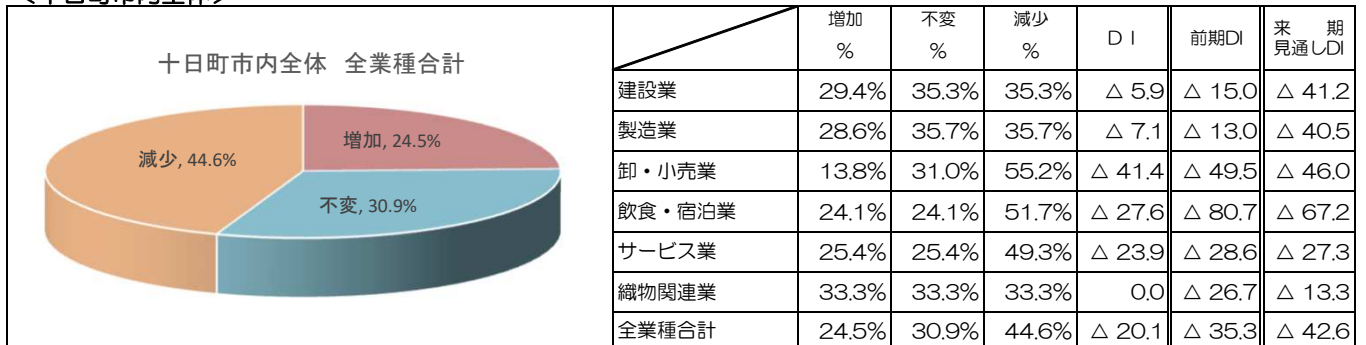
会議所地区の今回の調査回答状況は、配布193事業所のうち146事業所からの回答があり、回収率は75.6%であった。（前回：回答事業所142事業所、回収率73.5%）

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

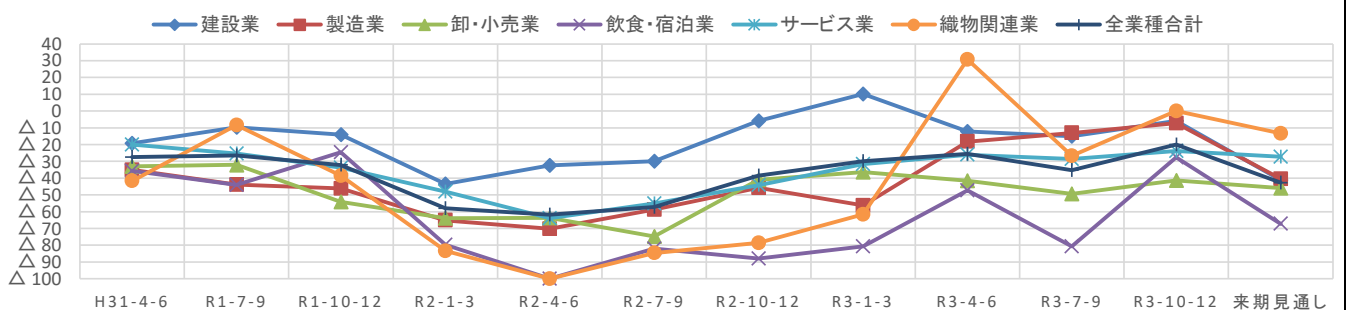
1. 売上について

- ・10月～12月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

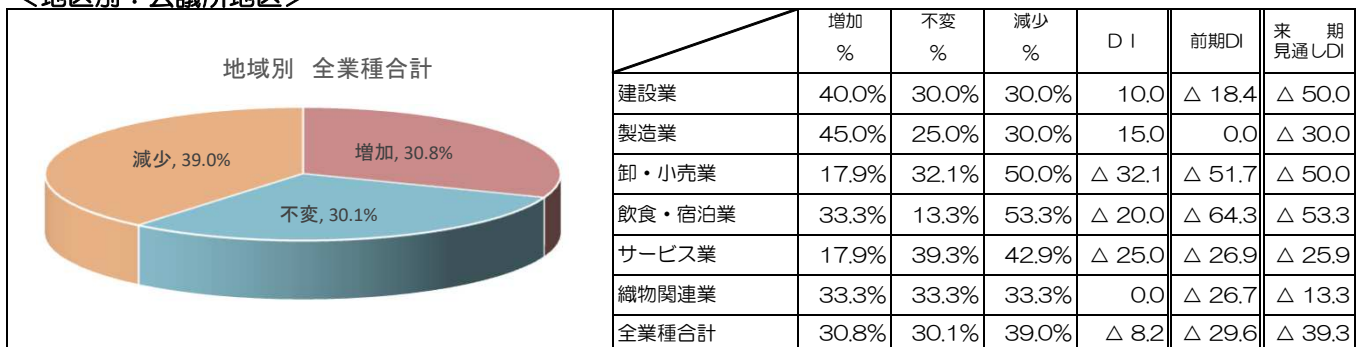


業種別売上の推移（市内全体）

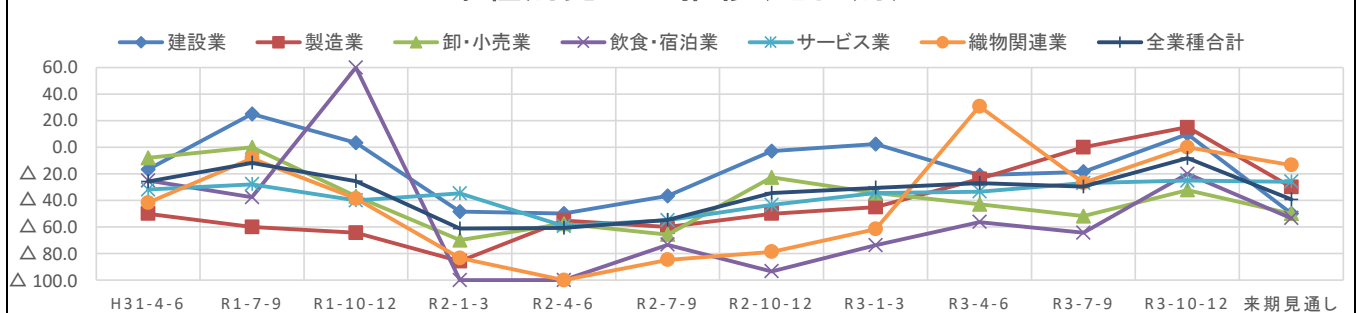


<コメント> 十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△20.1ポイントで、前回調査時よりも15.2ポイント上昇となっている。全業種が上昇する中、特に飲食・宿泊業の割合が大きくなっている。来期見通しでは、コロナ関連に伴う先行き不透明感があるものと思料され、全業種で低下予測となっている。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移（地区別）

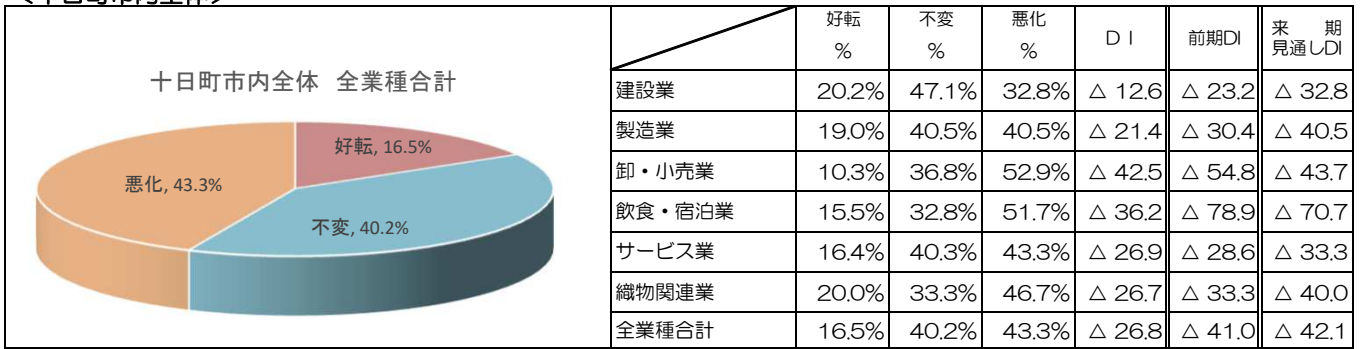


<コメント> 会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△8.2ポイントで、前回調査時よりも21.4ポイント上昇となっている。市内全体の結果と同様に全業種が上昇しており、特に飲食・宿泊業は前期比44.3ポイント上昇している。来期見通しにおいては、全業種で低下予測となっている。

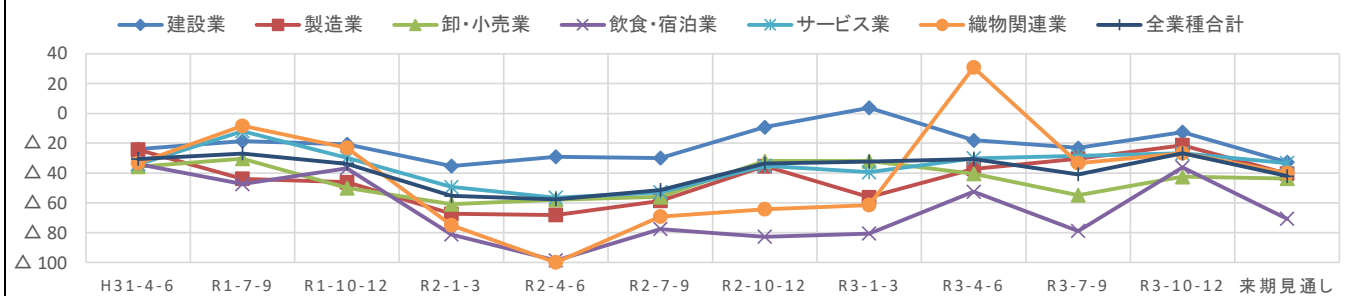
2. 採算について

- ・10月～12月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

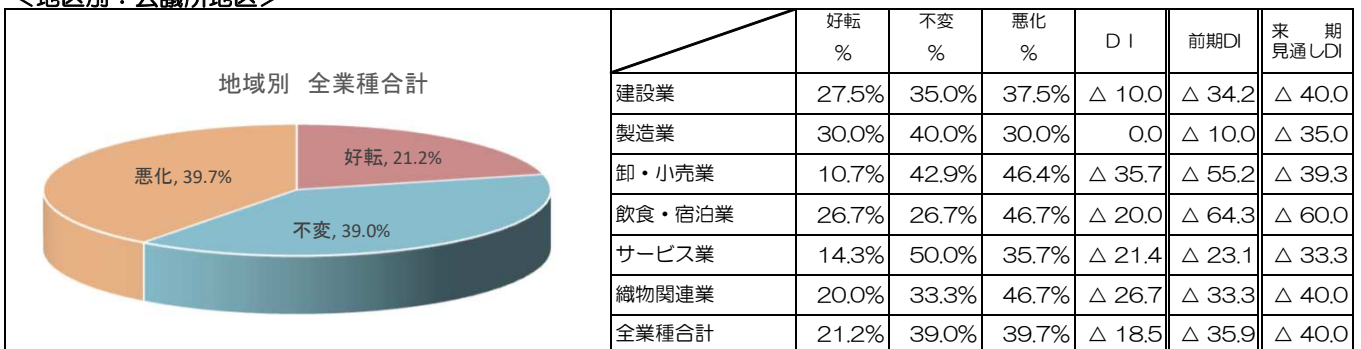


業種別採算の推移(市内全体)

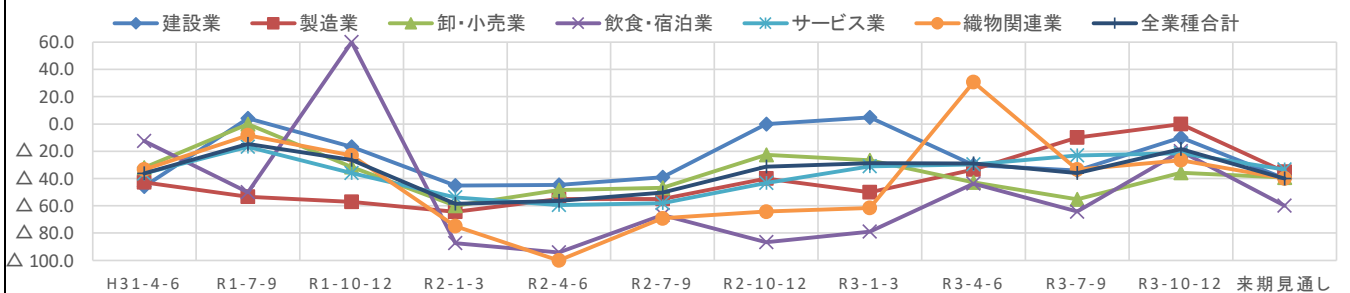


＜コメント＞ 十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△26.8ポイントで、前回調査より14.2ポイント改善している。全業種において改善され、特に飲食・宿泊業の割合が大きくなっている。しかし、来期見通しでは、全業種が悪化予測の中、特に飲食・宿泊業の割合が高く、全業種DI値についても悪化見通しとなる。

＜地区別：会議所地区＞

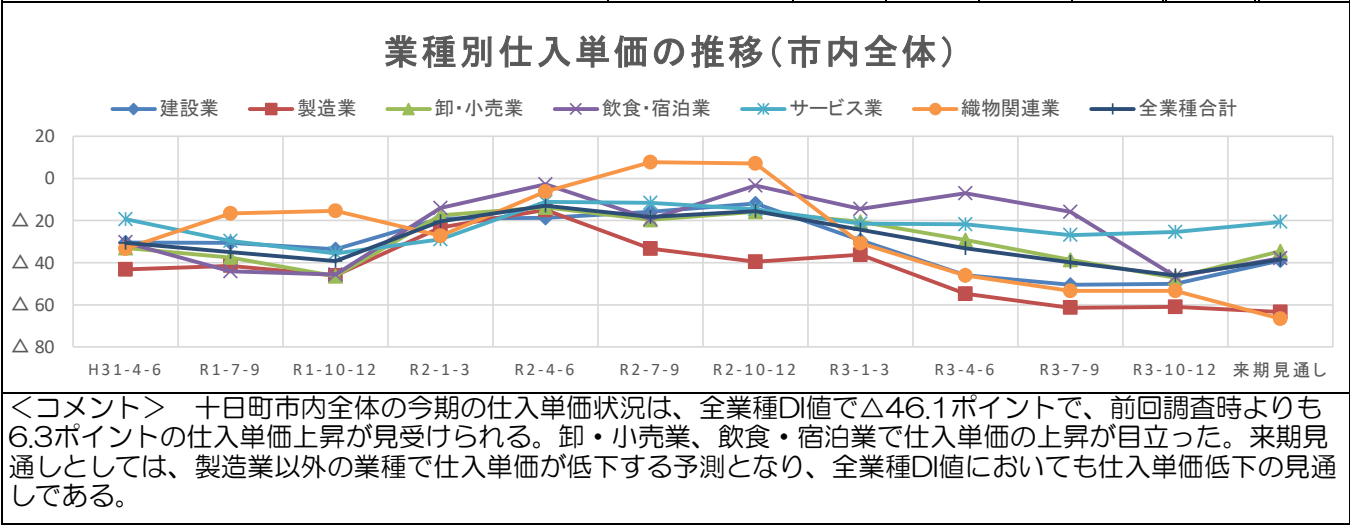
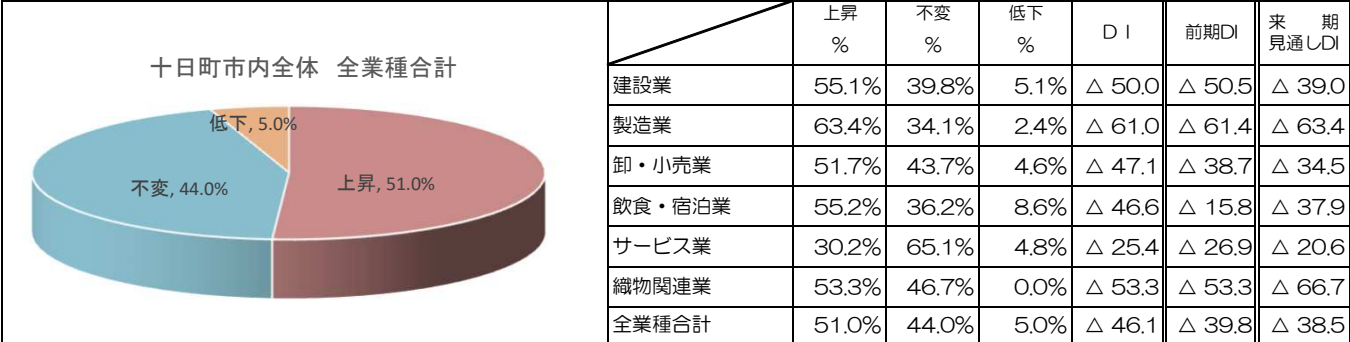


業種別採算の推移(地区別)

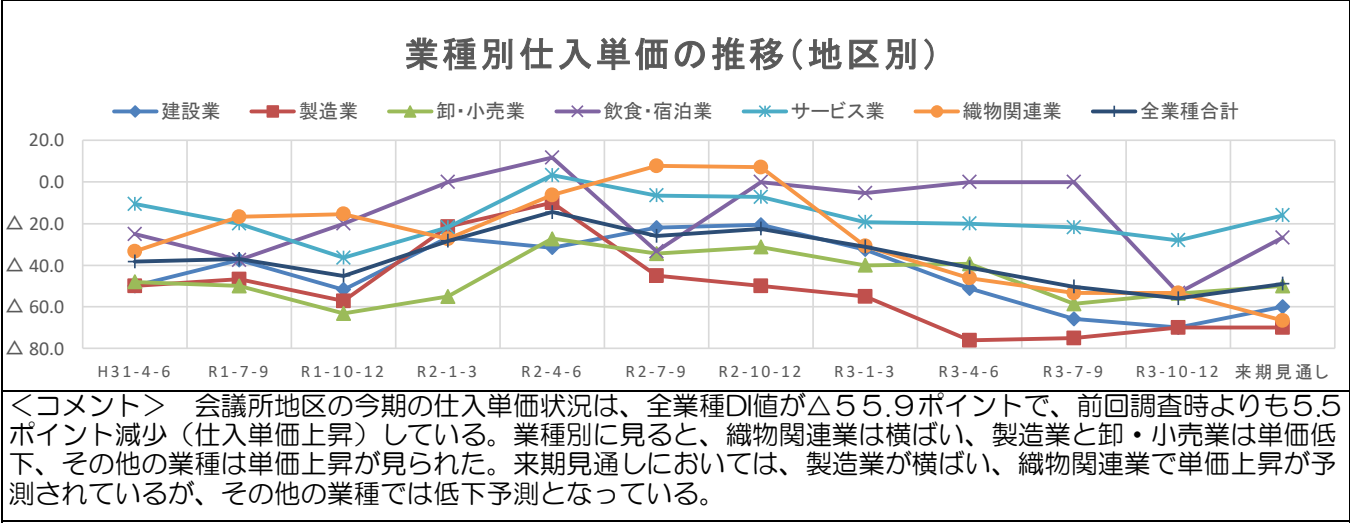
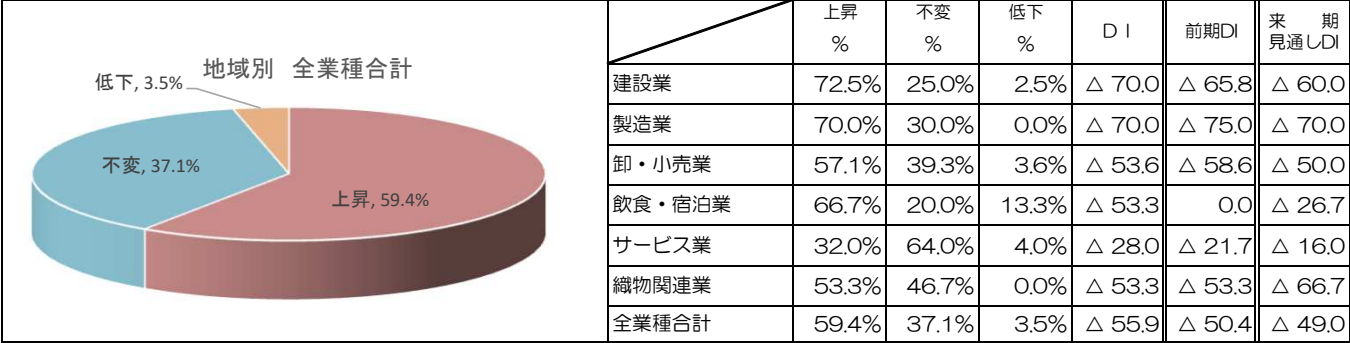


＜コメント＞ 会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△18.5ポイントで、前回調査時よりも17.4ポイント改善している。全業種において改善しており、飲食・宿泊業では44.3ポイント増、建設業で24.2ポイント増となっている。来期見通しでは全業種で悪化予測となっており、売上の予測と同様の結果となっている。

3. 仕入単価について
・10月～12月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？
＜十日町市内全体＞



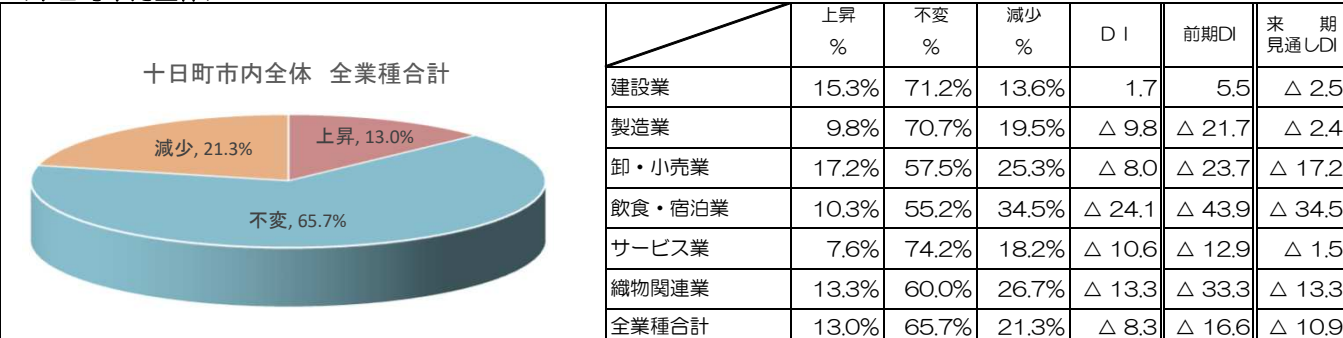
＜地区別：会議所地区＞



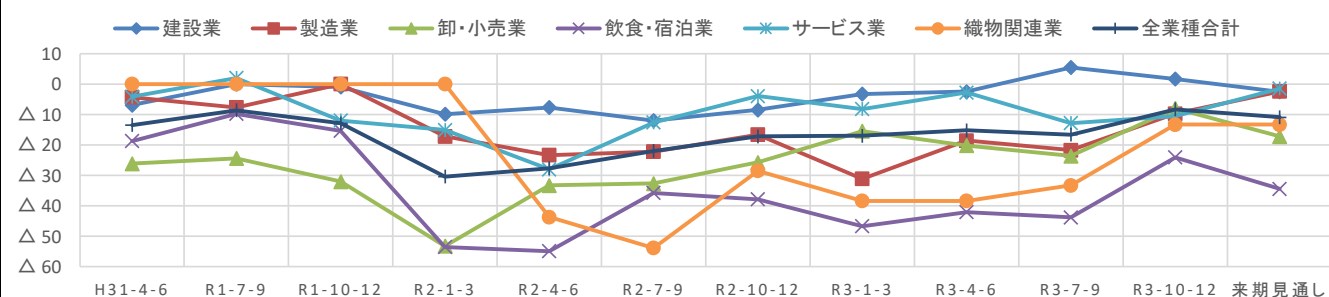
4. 販売（客）単価について

- ・10月～12月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

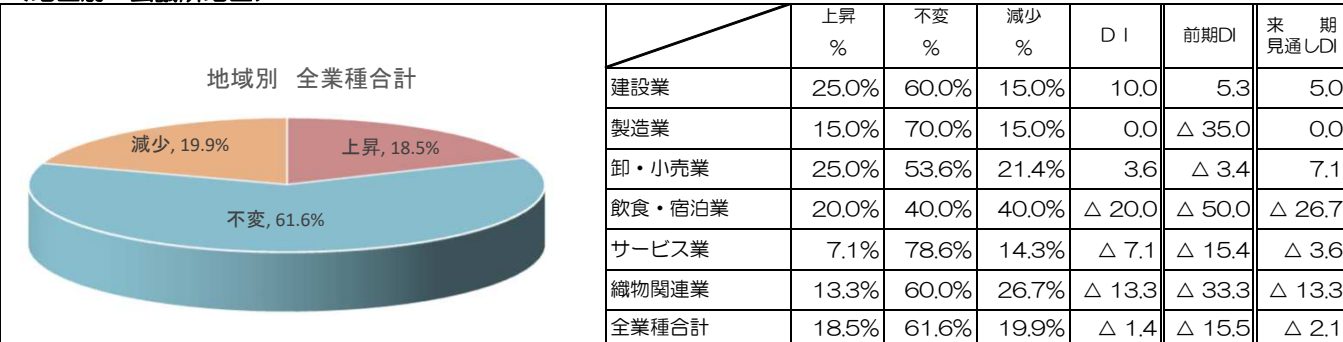


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

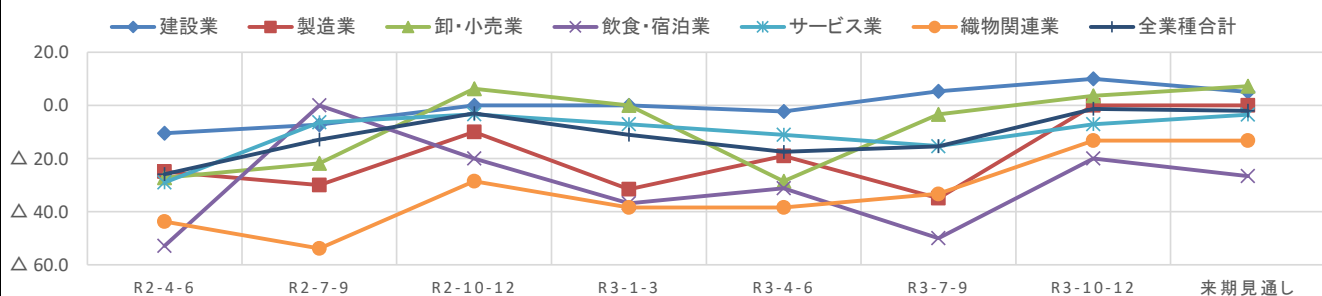


<コメント> 十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△8.3ポイントで、前回調査時より8.3ポイント上昇している。建設業以外の業種が軒並み数値が上昇している。来期に関しては、製造業、サービス業で上昇予測となるが、その他の業種では、低下予測となる。また、全業種DI値も低下する見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



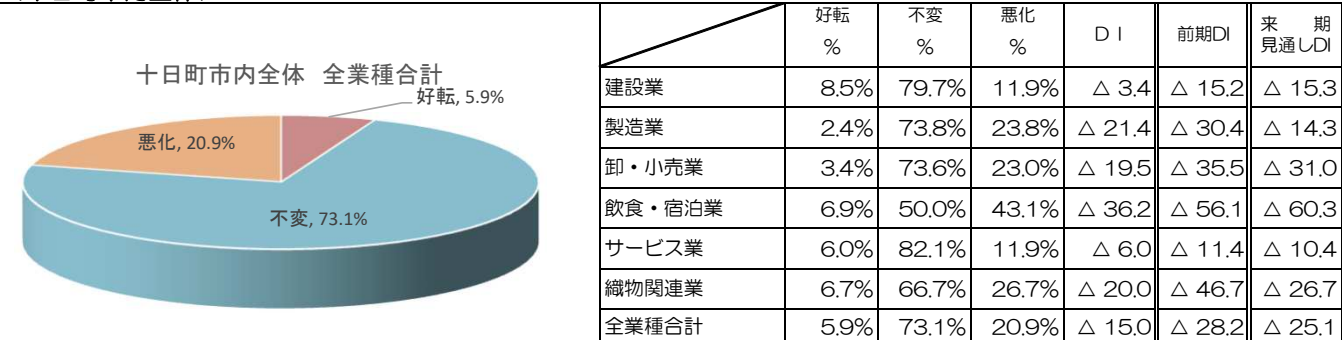
<コメント> 会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種で単価上昇が見られ、全業種DI値は△1.4ポイント（前期比14.1ポイント増）であった。来期見通しにおいては、製造業と織物関連業で横ばい、卸・小売業とサービス業で単価上昇予測、建設業と飲食・宿泊業で単価低下予測されている。

※会議所地区では、R2.4-6月期から販売（客）単価の状況について項目を設けた。

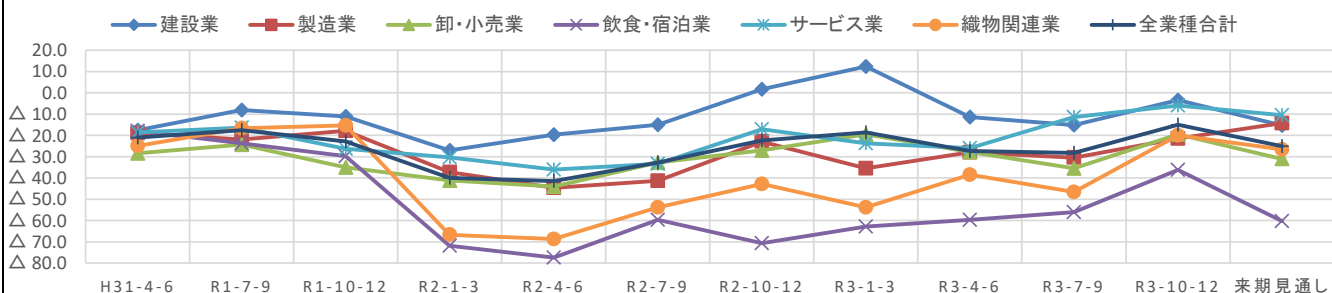
5. 資金繰りについて

- ・10月～12月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

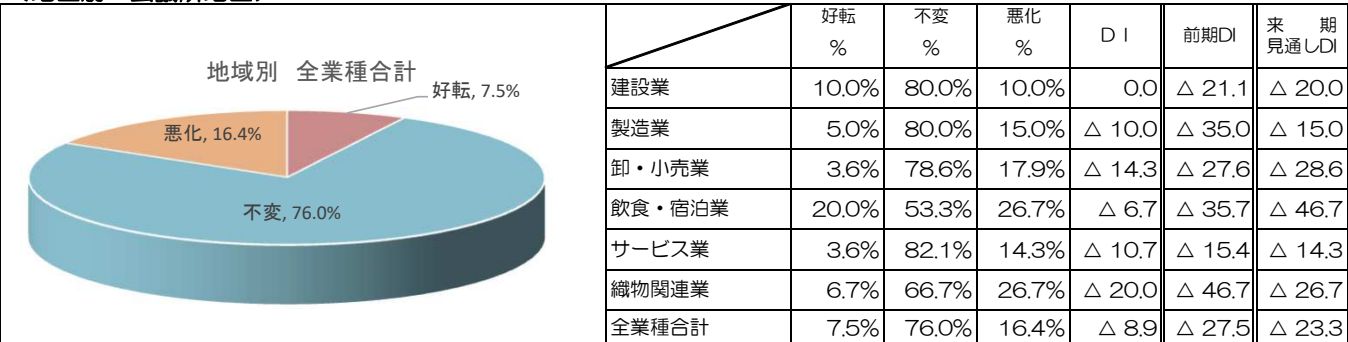


業種別資金繰りの推移(市内全体)

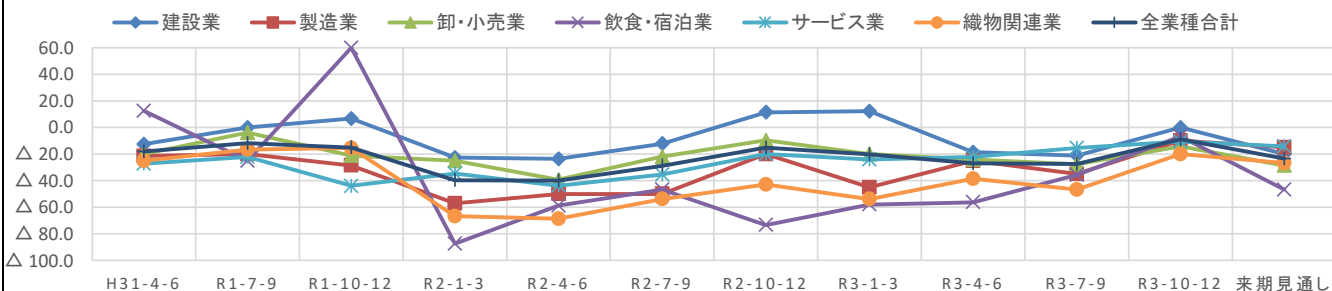


<コメント> 十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△15.0ポイントで、前回調査時より13.2ポイント改善している。全業種において改善が見受けられる中、特に飲食・宿泊業の割合が大きくなっている。来期見通しとしては、製造業が若干の改善予測であるが、その他業種では、悪化予測となる。また、全業種DI値についても悪化する見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

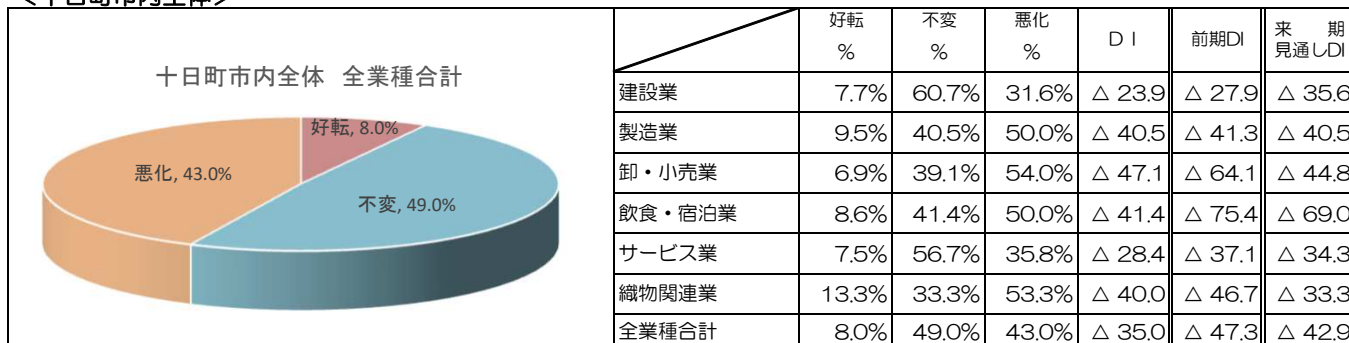


<コメント> 会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△8.9ポイント（前期比18.6ポイント増）となっている。飲食・宿泊業の29.0ポイント増をはじめ、全業種で好転している。来期見通しにおいては、全業種で悪化予測となっている。

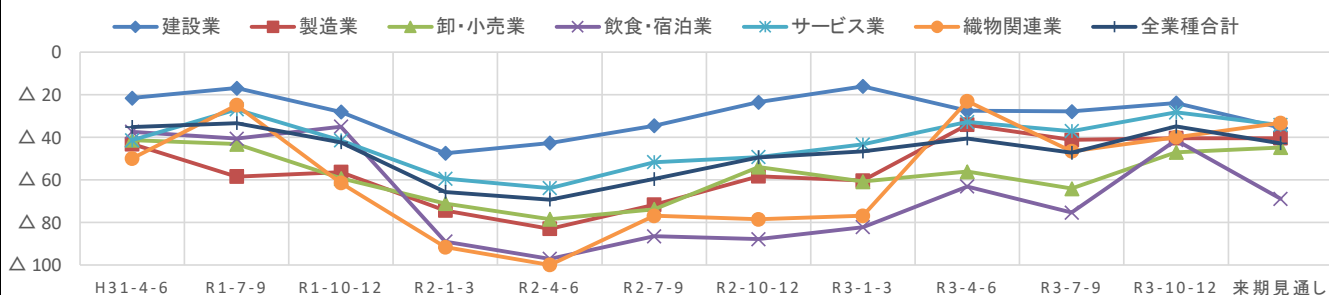
6. 景況判断について

- ・10月～12月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

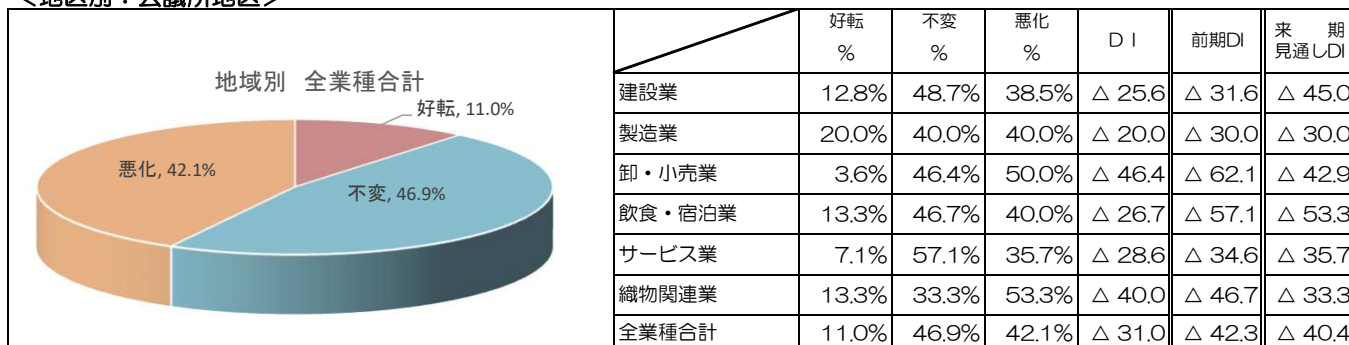


業種別景況判断の推移(市内全体)

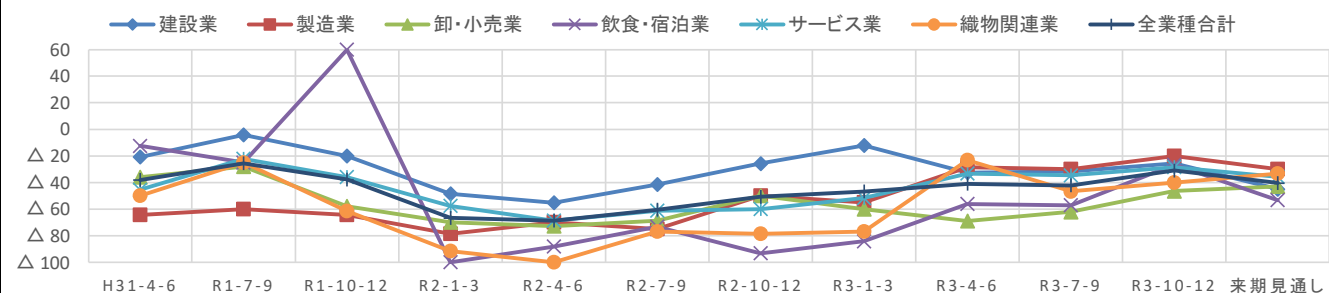


<コメント> 十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△35.0ポイントで、前回調査時よりも12.3ポイント改善している。全業種において改善が見受けられる中、特に飲食・宿泊業の割合が大きくなっている。来期見通しは、コロナ関連の先行き不透明感がある中、原料や燃料の高騰も懸念されると思われ、製造業、卸・小売業以外の業種で悪化予測となり、全業種DI値についても悪化する見通しである。今後の動向に注視したい。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)



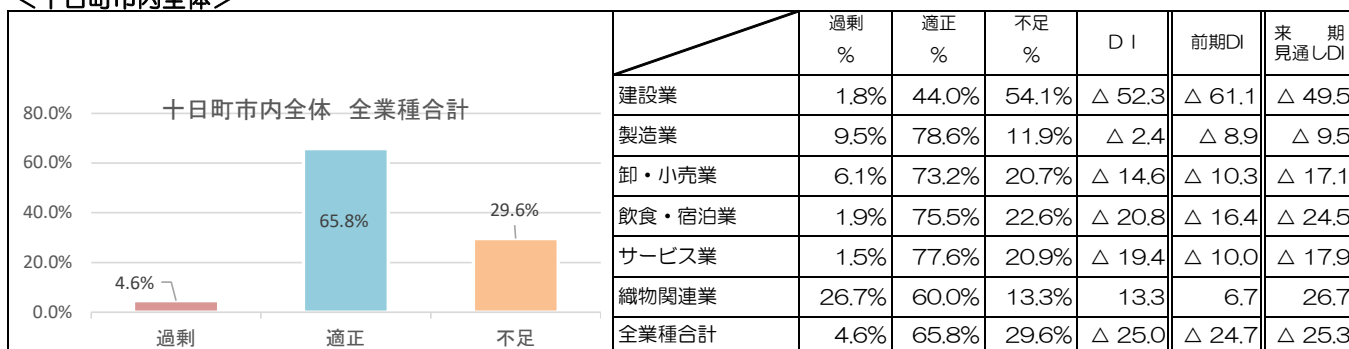
<コメント>

会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△31.0ポイント（前期比11.2ポイント増）と好転した。飲食・宿泊業の30.4ポイント増をはじめ、全業種で好転している。来期見通しにおいては、卸・小売業と織物関連業が好転予測、その他の業種は悪化予測されている。

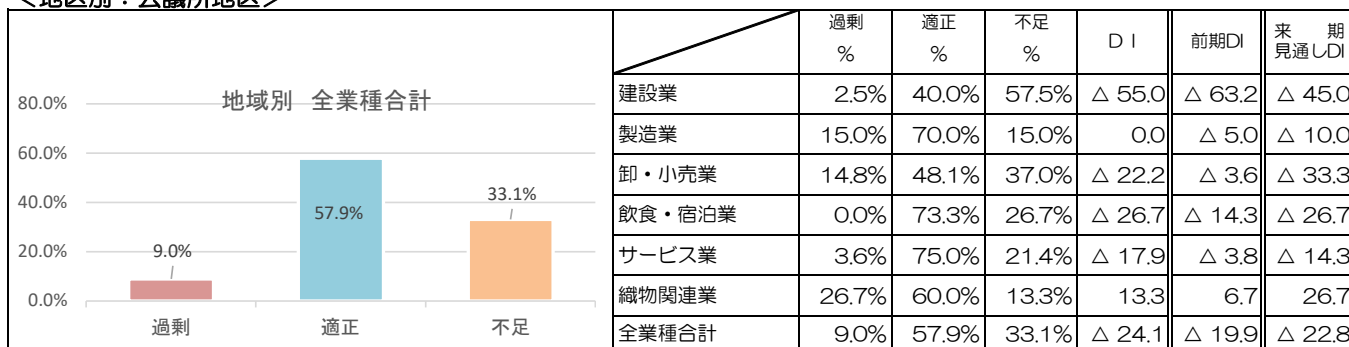
7. 従業員数について

- ・10月～12月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：会議所地区>

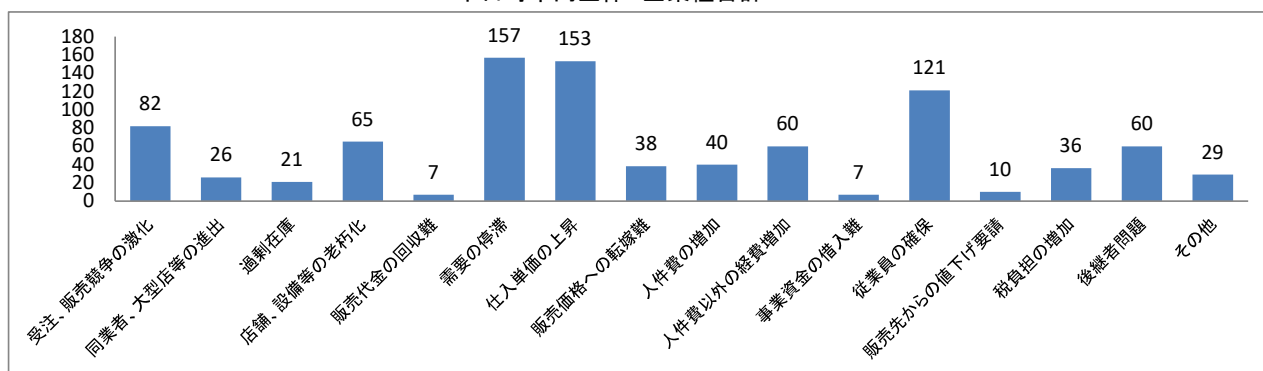


<コメント> 今期の従業員数(雇用動向)は、市内全体では、過剰回答が0.9%減少、不変回答が1.6%増加、不足回答が0.7%前回調査時よりも減少している。

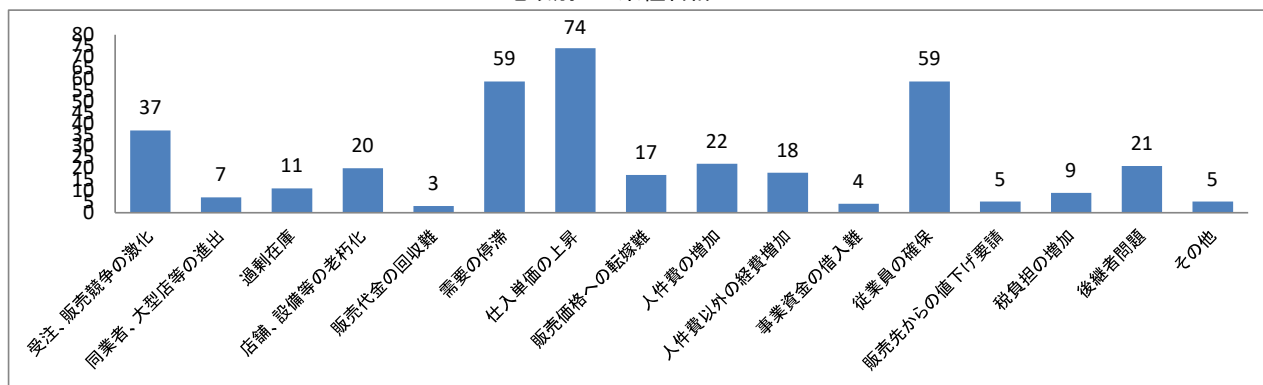
会議所地区の状況は、全業種においては適正回答が一番多いものの、建設業の6割近くが不足と回答している。飲食・宿泊業では、過剰回答が0件であった。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：10月～12月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント> 今回調査での経営上の問題点は、市内全体では、1位が「需要の停滞」、2位が「仕入単価の上昇」、3位が「従業員の確保」、4位が「受注、販売競争の激化」と変わらなかった。

会議所地区の経営上の問題点は、1位が「仕入単価の上昇」、2位が「需要の停滞」「従業員の確保」であった。「仕入単価の上昇」と回答した事業所は、前回から20件以上増加した。

9. 地区の景況概要

・10月～12月時点での全体概況は

【建設業】 今期の建設業の状況は、売上・採算・資金繰りが好転している。ただ来期見通しにおいては悪化予測となっており、今後の動向に注視したい。経営上の問題点では、「従業員の確保」「仕入単価の上昇」の順に多く回答されている。
【製造業】 今期の製造業の状況は、全ての項目で好転している。来期見通しにおいては、仕入単価と販売単価は横ばい、他の項目は悪化予測となっている。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」「従業員の確保」「受注、販売競争の激化」の順に多く回答されている。
【卸・小売業】 今期の卸・小売業の状況は、雇用動向以外の項目が好転している。来期見通しにおいては、売上・採算・資金繰りで悪化予測となっている。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」と「需要の停滞」が一番多く回答されている。
【飲食・宿泊業】 今期の飲食・宿泊業の状況は、売上・採算・資金繰りで好転している。忘年会需要の影響かと推測できる。ただ来期見通しにおいては悪化予測となっており、今後の動向に注視したい。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」が一番多く回答されており、続いて「需要の停滞」「従業員の確保」が多く回答されている。
【サービス業】 今期のサービス業の状況は、売上・採算・資金繰りで若干好転しているが、来期見通しにおいては悪化予測となっている。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。
【織物関連業】 今期の織物関連業の状況は、仕入単価が横ばい、その他の項目で好転している。来期見通しにおいては、売上・採算・資金繰りで悪化予測となっている。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」「受注、販売競争の激化」の順で多く回答されている。